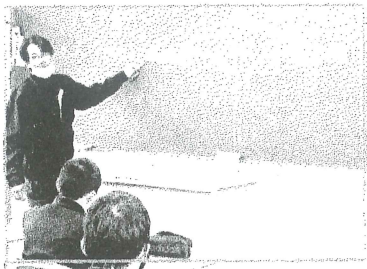


前へ

岐宿中学校だより
文責：都々木

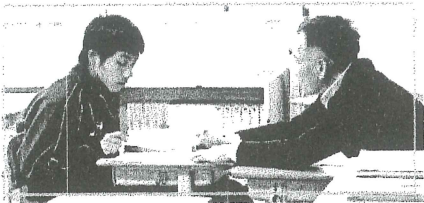
こんにちはとありました。

お魚教室 2/7



谷川賢一さん（真梧くんのお父さん）から、定置網の漁法や漁師の仕事について教えてもらいました。その後、アジのさばき方実習。ハガツオの刺身もいただきました。

放課後学習会 2/某日



学年末テスト前の自主学習会のひとコマ。残る生徒が増えるといのですが...

生徒集会 2/12

この日は保健・給と一食委員会の担当。ジェスチャーでも工夫された給食についてのクイズ。最後は全員肩を組んでアイデア一杯の楽しい会になりました。



行事予定

- 一日 (日) 県立高等学校卒業式
- 二日 (月) PTA挨拶運動 部活終了18:30
- 三日 (火) 1・2年学年PTA
- 五日 (木) 学校保健委員会18:40
- 一〇日 (火) 公立高校入試 11日 (水)
- 一三日 (金) 送別行事⑥校時
- 一四日 (土) バレー五島選手権
- 一五日 (日) 家庭の日
- 一六日 (月) 卒業式予行 同窓会入会式
- 一七日 (火) 卒業証書授与式 9:30
- 一八日 (水) 公立高校合格発表 9:30
- 岐宿小卒業式
- 二〇日 (金) ●春分の日
- 二四日 (火) 修了式 離任式 ※給食なし

第五回五島小中学生短歌俳句大会

国語科の取り組みとして応募しました。入選者を紹介いたします。

「俳句の部」

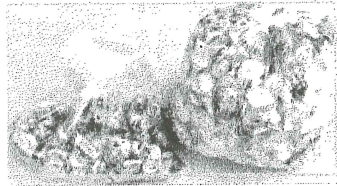
- 秀逸 マフラーをぐるぐるるると行ってきます 一年 田端 秋桜
- 佳作 景色変え音を立てずに夜の雪 三年 前川 彩乃
- 散歩道水鳥の声冬近し 一年 山下 美希

「短歌の部」

- 五島市教育長賞 秋終わり日向を探して道歩く道の先には冬が待ってる 二年 濱本 夏鈴
- 五島文化協会長賞 冬の朝北風吹く通学路思わすぎゆつと手を握りしめる 二年 萬田 幸佑
- 秀逸 クリスマス二人で歩く並木道来年もと彼が微笑む 三年 田端 佳果
- 佳作 北風よ吹くなと願う帰り道ジャージ忘れて体凍える 二年 今島廉太郎
- 秋晴れの肌寒い朝の開会式早く走りたいと久々に思う 二年 関田 由一
- 受験前心の音が膨らんで合格目指し一歩踏み出す 三年 江口 愛夏

（雑感）「367本ありました」。野平校務員さ

んの残念そうな疲れたつぶやきがあった。下の写真は、体育館裏の土手、つつじの植栽の中に投げ捨てられていた空き缶である▼ほとんどが同じメーカーの同じ銘柄の缶コーヒード、中には吸い殻が入っているものもあり、意図的な「悪意」を感じる▼野平さんは、つつじの土手を這いつくばって一本一本集めた。そして、冷たい水で一本一本洗った。「収集してくれませんか」と言いながら。かさばらないようにつぶし、ゴミ袋に詰めたものがこの写真である▼367本の空き缶を子どもたちが学ぶ校内に投げ捨てた「悪意」は、幾日続いたのだろうか。そう考えるとぞっとする。「悪意」が投げつけられる学校で、「地域やふるさとを愛し、誇りに思う心」が育つはずもないと憤るが、黙々と拾い集め、洗い、つぶす野平さんの「善意」の姿に救われた。



「子どもに、自分は何が得意なのかを気づかせてあげる」とは、賞を持参して来られた文化協会の松尾先生のお言葉。本当にそうだなあとあります。色んなことに挑戦させたいですね。